









記者が「施餓鬼供養」という法要を知ったのはごく最近のことです。その法要が現在も行われるという秋山の「慶國寺」を訪ねてきました。

慶國寺へは北総鉄道「秋

山駅」の前を直進、松戸より線路右側の道、つまり左手に折れて、県道松戸原本線との交差点を渡り道なりに進むと、右手に長秋山慶國寺、左手に春日神社があります。

UKIUKI 183号で紹介した秋山湧水は慶國寺の崖下の方向にあたります。

長秋山慶國寺は、歴700年の歴史を持つ寺院です。境内には松戸市の保護指定樹木の大イチヨウ木とシイの木、境内の中には大きなサルスベリがあります。石碑では、日栄から数えて今のご住職、貞應さんは51代目。

「阿難の母は生前、些細な過ちを犯した。それが閻魔

蓮聖人七百年遠碑などが

数基あります。

「施餓鬼供養」

が行なわれる

と書かれています。

「きぬえ」と書かれています。

「きぬえ」と書かれています。